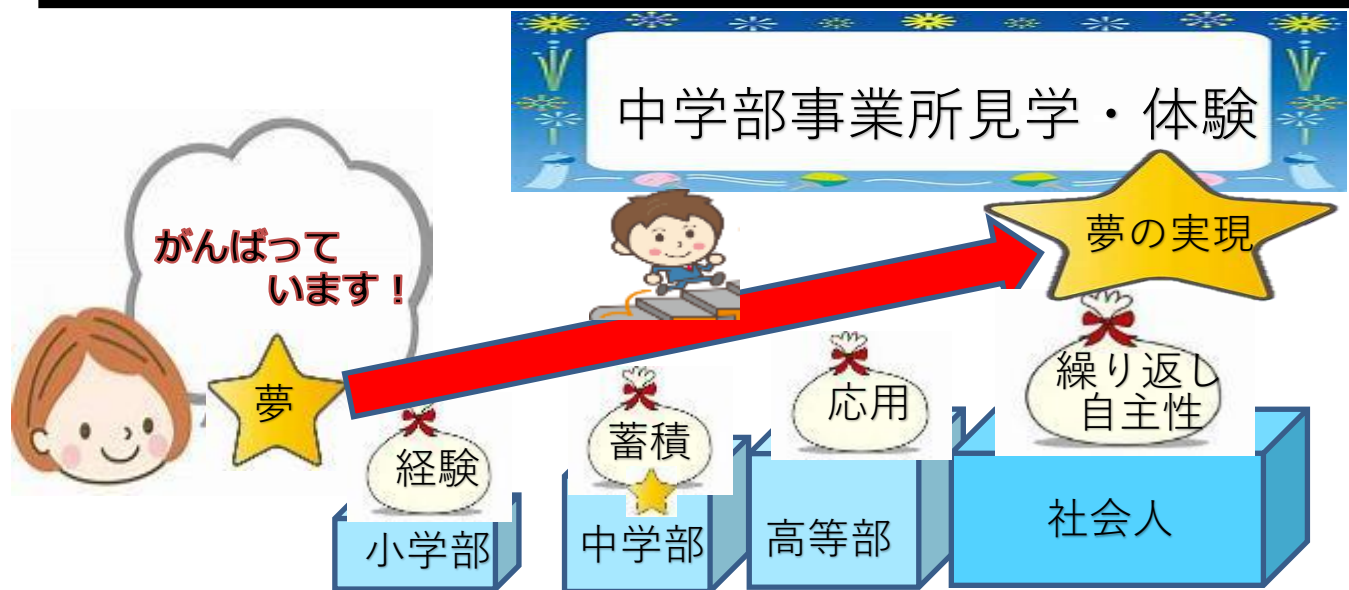


進路だより アシスト

青森県立七戸養護学校 進路指導部
夏号 令和8年8月28日発行



中学部では全学年、様々な場所・人・物・天候の中で働く経験を積み上げています。そこで培った経験を将来の自分の生活と照らし合わせて、夢や志を大きく膨らませ目標を抱き日々の学習に向き合う生徒を育てています。

これから紹介する「前期校内実習」は、学校を卒業して社会人として働いたり、施設で過ごしたりするイメージをもつための最高のステージとなっています。今後も、校内実習や学校から出て地域で、企業で、大人の社会で、たくさん経験を積んでいきたいと思います。（中学部進路指導主事 増尾 淳）

中学部 前期校内実習（6/22～6/26）

各作業班の実習の様子



花壇班

暑い中、学校の花壇の草取りを頑張りました。雑草を丁寧に取り除きました。



環境整備班

下駄箱に敷く新聞をきれいに折ったり、アクリルたわしを作ったりしました。



手工芸班

紐通しをしたり、スタンプを押したりしました。手先を上手に使いこなし集中して取り組むことができました。



リサイクル班

アップサイクルでペットボトルのキャップをアイロンで丁寧に溶かし製品化しました。



高等部第1学年 事業所見学

6月26日(金)に高等部第1学年が事業所見学を行いました。今年は十和田市と三沢市方面のグループに別れ、一般企業や就労継続支援A型・B型、自立訓練の事業所を見学しました。見学先には本校の卒業生が就労している事業所もあり、生徒の事業所見学への関心がとても高かったです。また、質疑応答では、難しい仕事は何か、働くために必要な力は何かなどの質問に対してアドバイスを聞くことができ、働くことや卒業後の進路について考える良い機会となりました。

◇見学先一覧◇

事業所名	所在地
①特別養護老人ホーム八甲荘（一般就労、B型、グループホーム）	十和田市
②就労継続支援事業所 情熱（A、B型）	十和田市
③農園カフェ日々木（A、B型）	十和田市(昼食)
④多機能型事業所リナシタ（B型、自立訓練）	十和田市
⑤就労継続支援事業所 おあしす（B型）	おいらせ町
⑥就労継続支援事業所 咲花－菜（B型）	三沢市(昼食)

① 特別養護老人ホーム八甲荘



②就労継続支援事業所 情熱



③農園カフェ日々木



④多機能型事業所リナシタ



⑤就労継続支援事業所 おあしす



⑥就労継続支援事業所 咲花



菜



進路希望調査を受けて



進路希望調査を実施した中で、質問・相談事項がいくつかありましたので、お答えします。今後も、進路のことや福祉情報等について、質問・相談がありましたら、学級担任までお話しください。

質問Ⅰ：高等部卒業後の進路で本人に向いているものを教えてほしい。
高校卒業後の施設の情報について（本人の適性に合った施設）

高等部卒業後の進路先については、大きく分けて3つに分かれます。一つ目は「進学」、二つ目は「一般就労」、三つ目は「福祉事業所の利用」です。それぞれの具体については、6ページに記載します。

本校在学中（小、中学部の内から）にPTAの事業所見学会等にご参加いただき、どういう進路先があるのかを知っていただきたいです。中学部になれば事業所見学の機会が増えたり、高等部では職場体験の機会が増えたりします。そうした中で、自分の得意なことを見付けていければ良いと思います。あとは、大雑把な考え方にはなりますが、人と関わることが好きなのか（小売り、福祉等）、黙々と作業に取り組むのが好きなのか（製造業等）、屋内と屋外での作業等の希望があるのかも参考にすることができると思います。

進路指導部より、すべてのご家庭に福祉サービス情報集を配布しております。上十三圏域の福祉事業所を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。興味があったり見学を希望したりする事業所がありましたら、担任を通してお知らせください。見学を打診することも可能です。

質問Ⅱ：県外の情報を知りたい。

県内の他圏域（上十三圏域以外）や県外の進路に関する情報を、常に収集している訳ではありません。状況に応じて、その地域の関係機関と連携し、情報を収集します。移住等を検討している都道府県や市町村等がありましたら、担任を通してお知らせください。

質問3：高等部卒業後の進路のイメージがざっくりしか今のところできていない為、情報を教えてほしい。例えば、サンワドーや郵便局などの就労に関して障がい者枠などがあると聞いたことがあるのですが…。

高等部卒業後の進路先については、質問1に対する回答をご覧ください。

一般企業の障がい者雇用については、法律の改正等により、障がい者を雇用している企業は増加しています。清掃業や小売業、クリーニング、製造業等は早い段階から障がい者雇用を積極的に行っていただいています。最近では、老人ホームや農業法人等に就労する生徒も増えています。本校では、公共職業安定所等の関係機関と連携し、職場体験から受け入れてくださる企業を開拓しています。進路だより「アシスト」5月号には高等部3学年の前期実習先が、6月号には高等部2学年の前期実習先が記載してありますので、ぜひご覧ください。

質問4：高等部卒業に向けて、どのような準備をしたらよいか知りたい。

下記の職業準備性ピラミッドをご覧ください。これは、将来働く上で必要な、在学中に身に付けておきたい力を示したものです。

中でも①健康管理、②日常生活管理、③対人技能については働く力の土台となる重要な力です。また、日々の生活から高めていくことができます。土台が不安定だと、いくら仕事の技術が高くても、職場でうまくいかず、早期に離職してしまうリスクが高まります。基本的な生活リズムを整え、できる限り毎日登校する、家庭でも挨拶等のコミュニケーションをしっかりと取る等、ご協力いただければと思います。

加えて、是非取り組んでいただきたいことが、「お手伝い」です。与えられた役割を果たし、認められることで自己有用感（自分は他者の役になっている！必要とされている！）が高まり、勤労意欲につながります。

質問5：中学卒業後、言葉が話せない、文字の書けない子の自立訓練ができる施設が知りたい。入所施設情報も知りたい。

自分の思いを伝えることは大切なスキルですね。音声言語に限らず、絵カードやタブレット端末のアプリケーション等を活用したコミュニケーション手段の獲得ができるといいですね。

さて、自立訓練ができる施設ですが、希望する地域がありましたら担任を通じてお知らせください。中学部卒業後ということで、放課後等デイサービス事業所であれば教育相談担当とも連携し情報提供できればと思います。

入所施設についても同様ですが、本校在学中の利用なのか、高等部卒業後の利用なのかによっても変わってくると思いますので、希望について担任を通じてお知らせください。

進路に関わることについては、不安な思いをされている方がたくさんいらっしゃる一方、「何が分からないかが分からない」という方が多いのではないのでしょうか？進路情報誌「アシスト」等、進路に関するお知らせについては是非ご確認いただき、疑問に思ったことは何でも構いませんので、担任を通じお問い合わせください。お子さんの進路実現に向け、家庭と連携し進路指導に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします、。

学校生活で身に付けたいこと ～職業準備性ピラミッド～



(参考：高齢・障害・求職者雇用支援機構)

○高等部卒業後の進路について

1 進 学：障がい者職業訓練校等

※高等学校卒業の資格が必要な学校を受検するためには、高等学校卒業程度認定試験をご自身で受験し合格する必要があります。

2 一般就労：一般事業所に障害者指定求人票を出してもらい、公共職業安定所（ハローワーク）を通じて雇用契約を結ぶ。

収入 6万円～15万円程度

※就業時間による、最低賃金保障

3 福祉事業所の利用

（1）就労継続支援 A 型事業所

：障害福祉サービスの一つで、公共職業安定所（ハローワーク）を通して雇用契約を結ぶ。

収入 8～10万円程度

※給料（最低賃金保障）をもらいながら、働く力を高め、将来的に一般就労を目指す。

※自力通勤が求められる。

（2）就労継続支援 B 型事業所

：障害福祉サービスの一つで、就労に必要な知識や能力向上のための訓練を行う。

収入 数千円～3万円程度（事業所や、利用者の能力によって異なる）

※給料ではなく工賃として支給される。

※利用者により、将来的に一般就労や就労継続支援 A 型事業所の利用を目指す。

※送迎がある事業所が多い。

（3）生活介護事業所

：障害福祉サービスの一つで、創作活動や生産活動を提供している。入浴等の生活に対する支援も行っている。

収入 生産活動ができる人に工賃が支払われる事業所もある。

※送迎がある事業所が多い。

（4）就労移行支援事業所

：障害福祉サービスの一つで、将来的な一般就労を目指す利用者に、就労に必要な知識や能力向上のための訓練や職場実習等を行う。

収入 事業所によっては工賃がある。

※利用期間は2年間限定（1年間の延長措置あり）